

「第7回 西宮市都市交通会議 地域公共交通分科会」会議録

日 時：平成 28 年 12 月 20 日（火）14 時 02 分～15 時 57 分

場 所：西宮市立勤労会館 4 階 第 8 会議室

議 題：1. 開会

2. 議事

報 告 事 項 生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について

議案第 1 号 平成 28 年度地域公共交通確保維持事業の自己評価について

3. 閉会

○委員出席者

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
分科会長	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	
委員	酒井 慶子	公募委員	
	立山 弘和	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	
	土井 勉	大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任教授 一般社団法人システム科学研究所上級研究員	
	楠田 悦子	モビリティコンサルタント ジャーナリスト	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部長	
	野口 一行	阪神バス株式会社 業務部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	
	原田 寛治	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長代行	
	中澤 秀明	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	欠席
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	運輸指導部長 小笠原 章
	堀内 智司	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 調査課長	欠席
	行徳 光正	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課長	
	植松 浩嗣	西宮市 土木局 道路公園部長	
	森田 高敏	兵庫県西宮警察署 交通第1課長	係長 伊藤 千紗
	吉本 道明	国土交通省 神戸運輸管理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	企画調整官 若林 隆司
	登日 幸治	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課長	副課長 岩原 直子
	松尾 成史	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	
清水 裕文	西宮市 都市局 都市計画部長		

議事内容

報告事項 生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について

・「ぐるっと生瀬」運行協議会及び事務局より生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について説明。

(委員) 「ぐるっと生瀬」が運行されたことで、地域住民の日常生活に何か具体的な変化はありましたか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

通院や買い物といった日常生活に必要な用事以外に、例えば知人に会いに行く際にも「ぐるっと生瀬」が利用されており、地域住民の外出機会が増えていることを実感しています。

(委員) 広報活動のために、学校や保育所のイベントに参加するようになったきっかけは何ですか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

「ぐるっと生瀬」運行協議会から直接学校等に広報活動の申し入れを行っています。子供を通じて親にも「ぐるっと生瀬」の存在を伝えることができるため、保育所や小学校などの子供を対象とした広報活動に力を入れています。

塩瀬中学校にも申し入れを行っていますが、校区に「ぐるっと生瀬」の運行エリア以外の地域も含まれていることから、一部地域のための広報活動を認めることは難しいと断られています。

(分科会長) 8月に子供の利用が増えている理由は何ですか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

特にイベント等を実施したわけではありません。一般的に夏休みなどの長期休暇の間は、家族利用が増えるため、子供の利用も増える傾向にあります。

(委員) 子供が将来地域に帰り、次の担い手となってもらうためには、自我形成の時期に当たる高校生に働きかけることが重要だと考えていますが、「ぐるっと生瀬」が高校生の生活に何か影響を与えるようなことはありましたか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

市北部地域に高校がないこともあり、高校生との関わりは持っておられません。

「ぐるっと生瀬」運行協議会では、トライやるウィークにおいて中学生の受入を行っているほか、現在、卒業論文作成のために大学生が会議に参加しています。こ

うしたつながりを高校生や大学生といった若年層との交流に広げていきたいと考えています。

(委員) 利用者の目的地や年齢などについて調査していますか。
調査結果を分析して、例えば運行時間を目的地となる商業施設や病院の営業時間に合わせたり、子供の送迎サービスを始めるなどの運行計画の見直しに活用することも考えられます。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)
具体的に計画しているわけではありませんが、「ぐるっと生瀬」運行協議会では、「ぐるっと生瀬」の付加価値を高めるために、病院の訪問診療に活用することや、こども110番のバスとすることなども議論したことがあります。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)
車椅子利用者の乗車スペースや障害者割引制度の導入など、運行当初は想定していなかった課題が出てきており、今後の検討課題として協議していきたいと考えています。

(分科会長) 一般的にコミュニティバスは地域住民の信頼を得るまでに非常に苦労していますが、「ぐるっと生瀬」がこれほど地域住民に浸透した要因は何だと考えていますか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)
地域の会合やイベントに積極的に参加するなどの地道な広報活動が実を結んだと考えています。また、「ぐるっと生瀬」運行協議会のメンバーには、自治会や老人会などの地域団体の代表者が多く含まれていることも大きな要因であると考えています。

(委員) 地域住民が交通手段の確保を地域の課題として共通認識し、「ぐるっと生瀬」の運行を地域活性化の中核事業として取り組んだからこそ、この結果に結びついたと考えています。今後もこうした姿勢を持ち続けて取り組んでほしいと思います。

(委員) 地域住民の中には様々な専門知識を持った人材がいらっしゃるので、必要な人材をうまく巻き込みながら活動してほしいと思います。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)
「ぐるっと生瀬」運行協議会にはデザインの専門家がおおり、広報誌の編集者として活躍してもらっています。また、「ぐるっと生瀬」が公募制の、あしたのまち・くらしづくり活動賞を受賞したのは、地域住民が推薦したことがきっかけとなっています。

(委員) 賞の紹介や推薦などについてはもっと市が積極的になるべきだと思います。

議案第 1 号 平成 28 年度地域公共交通確保維持事業の自己評価について

・事務局より地域公共交通確保維持事業の自己評価について説明。

(委員) 「ぐるっと生瀬」は、地域活性化のために地域住民が主体的に取り組んでいる非常に個性のある取組みにも関わらず、自己評価では「ぐるっと生瀬」運行協議会が主体的に取り組んでいることが分かるような表現になっていないと思います。

「ぐるっと生瀬」が地域で担っている公益性や地域住民の取組みについて、もっと具体的に自己評価に盛り込むべきだと思います。

(事務局) 頂戴したご意見を参考に修正させていただきます。
修正案については、書面審議により委員の皆様にご確認いただきたいと思ひます。

(分科会長) 「議案第 1 号 平成 28 年度地域公共交通確保維持事業の自己評価について」は、後日、書面審議により確認するというこゝでよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長) 議案第 1 号は、書面審議により確認することとします。

以上